

PM_{2.5}成分モニタリング期間の代表性について

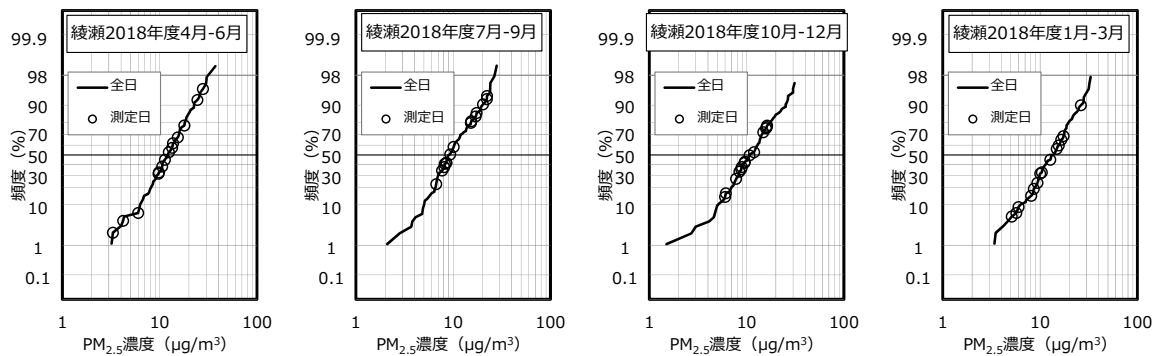
2018年度のPM_{2.5}成分モニタリング期間（年4回、各2週間）の当該季節での代表性を検討した。検討には期間中の大気汚染常時監視データ（自動測定機による質量濃度測定結果）を用いた。4-6月（春季）、7-9月（夏季）、10-12月（秋季）、1-3月（冬季）の日平均値の平均濃度、標準偏差と、各々の季節の成分モニタリング実施日の平均濃度、標準偏差の差の検定を行った。また、各季節のPM_{2.5}日平均値の累積度数分布とその期間中の成分モニタリングの日のデータを図示した。

2018年度 足立区綾瀬

(μg/m³)

	4-6月		7-9月		10-12月		1-3月	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
全日	13.4	6.5	10.8	5.7	12.8	7.6	14.8	7.4
測定日	12.8	7.0	12.5	5.2	10.8	3.6	11.9	5.8
検定	○	○	○	○	○	×	○	○

検定: 平均値の差の検定 (t検定: 有意水準5%)、分散の比の検定 (F検定: 有意水準5%)

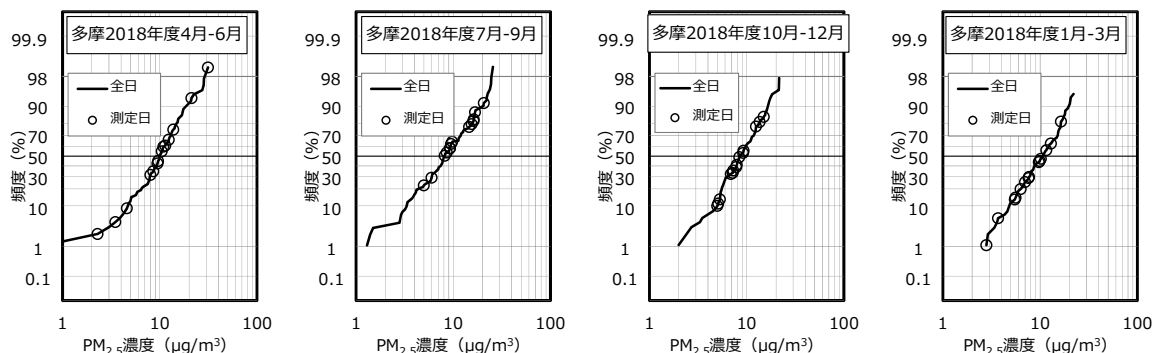


2018年度 多摩市愛宕

(μg/m³)

	4-6月		7-9月		10-12月		1-3月	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
全日	11.1	5.9	9.8	6.0	9.7	4.8	11.5	5.6
測定日	11.3	7.4	11.8	4.7	8.6	3.1	8.4	3.7
検定	○	○	○	○	○	○	×	○

検定: 平均値の差の検定 (t検定: 有意水準5%)、分散の比の検定 (F検定: 有意水準5%)

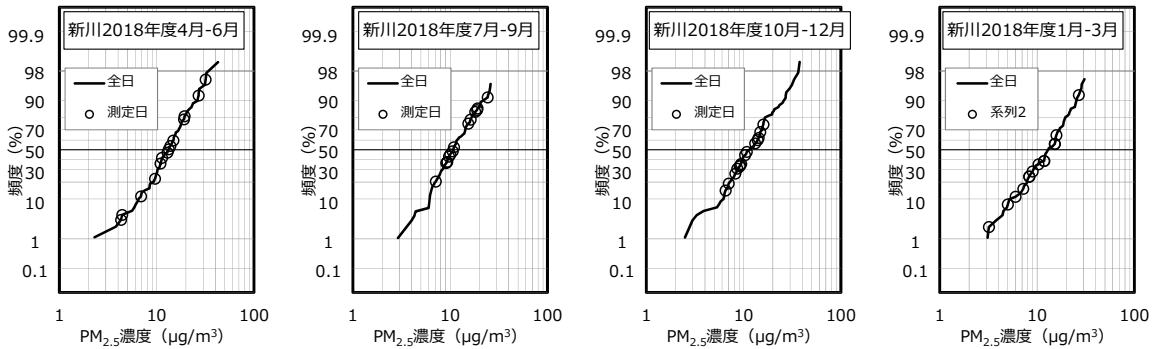


2018年度 永代通り新川

($\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	4-6月		7-9月		10-12月		1-3月	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
全日	14.4	7.2	12.1	6.1	13.3	7.6	14.2	7.3
測定日	14.2	7.9	13.4	5.2	10.8	3.0	11.0	6.0
検定	○	○	○	○	○	×	○	○

検定: 平均値の差の検定(t検定: 有意水準5%)、分散の比の検定(F検定: 有意水準5%)

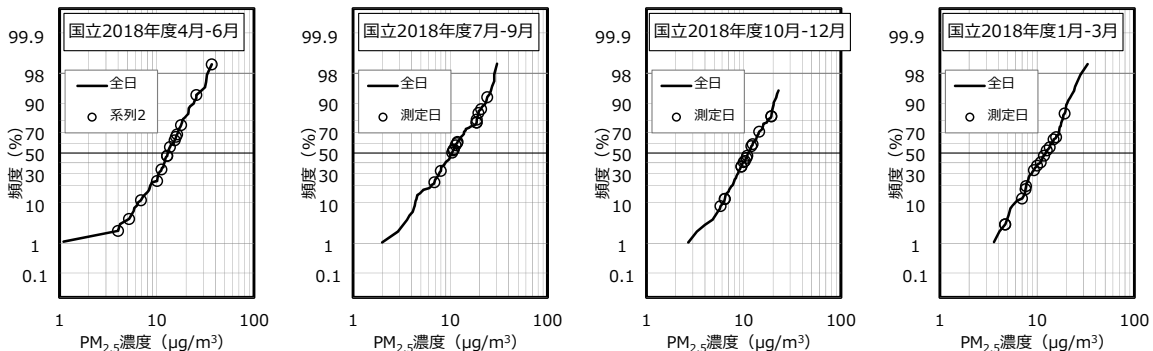


2018年度 甲州街道国立

($\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	4-6月		7-9月		10-12月		1-3月	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
全日	14.2	6.8	12.0	6.8	12.4	5.7	13.0	5.9
測定日	14.6	8.4	14.5	5.4	11.2	4.2	10.7	4.2
検定	○	○	○	○	○	○	○	○

検定: 平均値の差の検定(t検定: 有意水準5%)、分散の比の検定(F検定: 有意水準5%)



各地点の季節全体と各季測定日の平均値、標準偏差で差が見られたのは多摩市愛宕の冬季平均値、足立区綾瀬と永代通り新川の秋季標準偏差のみであり、概ね成分モニタリング期間は各季節の代表的な値であったと考えられる。秋季の成分モニタリング期間は全体的に秋季全体の平均値付近に分布が集中しており、特に足立区綾瀬と永代通り新川では標準偏差が小さくなったと考えられる。

注) 成分モニタリング期間中のうち足立区綾瀬の 1/17 は自動測定機による常時監視データが欠測だったため、葛飾区水元公園の値を用いて代表性の評価を行った。